



2000年09月21日

**フォルクスワーゲン ゴルフ 累計生産台数2000万台を達成**  
**20 millionth Golf comes off the production line at Volkswagen**

フォルクスワーゲンAGは、9月20日(水)に2000万台目のゴルフをラインオフしたと発表しました。このクルマは本社のあるドイツ ウォルフスブルグ工場で生産されたもので、ラインオフの記念式典には、会長のDr. ピエヒを始めとした役員や、従業員らが多数出席しました。

2000万台目にあたる特別なゴルフは、出力125kW(170PS)、5速MTを搭載。ボディカラーはリフレックス シルバー メタリックでした。装備も特別で、フォルクスワーゲン ナビゲーションシステム、マルチファンクション ステアリングホイール、電子制御式エアコンディショナー、チャイルドシート一体型リアシートなど、1974年に生産を開始して以来26年に渡るゴルフのサクセスストーリーを象徴したモデルとなっています。

この式典で、フォルクスワーゲン ブランド 生産担当取締役のDr. フォルカー ヴァイスゲバーは、ゴルフは、パワー、ダイナミズムと完璧なテクノロジーの代表であると強調し、「ゴルフには限界がありません。ゴルフはコンパクトでありながらもフレキシブルな世界に通用するクルマです。フォルクスワーゲンは、単なる1モデルではなく、新しいクラス="ゴルフ クラス"を創り出しました。そしてそのクラスのNo.1は未だにゴルフなのです。」と述べています。また、ゴルフは雇用においても中心の役割を果たしており、約4万人の従業員が、世界8ヶ所でフォルクスワーゲン ゴルフの生産に従事しています。

また、フォルクスワーゲンAG労働評議会会長のクラウス フォルカートはスピーチの中で、ゴルフは、フォルクスワーゲンあるいは生産拠点としてのウォルフスブルグにとって重要な"柱"であると強調し、さらに、「この成功は、開発から生産、販売までの全てのエリアによってもたらされたものであり、世代を超えた仕事の成果、さらに我々の誇りでもあります。」と述べました。

今日ゴルフは、ウォルフスブルグ、モーゼル/ザクセン、オスナブリュック(ドイツ)、ブリュッセル(ベルギー)、プラチスラバ(スロバキア)、ユイテンヘーグ(南アフリカ)、プエブラ(メキシコ)そしてクリチバ(ブラジル)の8つの工場で日産約4000台が生産されています。

1999年、フォルクスワーゲンは859,544台のゴルフを販売しました。2000年の上半期の販売台数は、既に453,678台に達しています。最も重要なヨーロッパのマーケットは、ドイツ、イタリア、フランスそしてイギリスです。そしてヨーロッパ以外でのゴルフの最重要マーケットは、USA、日本そして南アフリカとなっています。

フォルクスワーゲン ブランド内の単一モデルで2000万台を超えたのは、1980年に記録を達成したビートルに次いで2モデル目となります。

写真について この式典の様子は、フォルクスワーゲンジャパンのホームページ内のPressページ内、プレスフォトページにアップロードされています。ダウンロードして是非ご利用ください。

Press Club URL: <http://www.vwj.co.jp>